

利上げ停止への期待が高まったFOMC

ポイント① 2会合ぶり、0.25%の利上げ

FRB（米連邦準備制度理事会）は7月25～26日に開催したFOMC（米連邦公開市場委員会）で、事前の市場予想通り、FF（フェデラル・ファンド）金利の誘導目標を0.25%引き上げ、5.25-5.50%とすることを全会一致で決定しました。一方、パウエル議長が追加利上げの方針を明言しなかったことで、FOMC終了後の市場が織り込む年内の追加利上げ確率は低下しました。

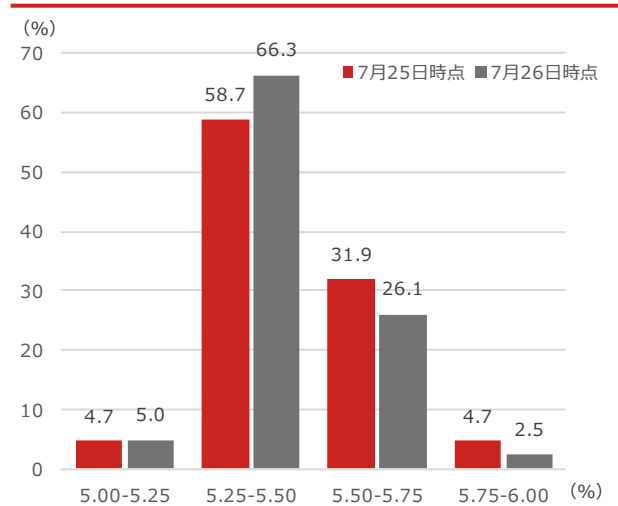
ポイント② 高まる利上げ停止への期待

FRBは物価動向を確認する上で、米PCEコア物価指数を重視しています。6月のFOMCで示された経済見通しによると、23年10-12月期の米PCEコア物価指数は前年同期比+3.9%、23年末のFF金利を5.50-5.75%としています。6月の米CPI（消費者物価指数）ではインフレ圧力の緩和が示され、利上げ停止の期待が高まりました。6月の米PCEコア物価指数が低い水準となれば、利上げ停止の可能性がより高まるとみられています。

ポイント③ 注目が集まる各中央銀行の動向

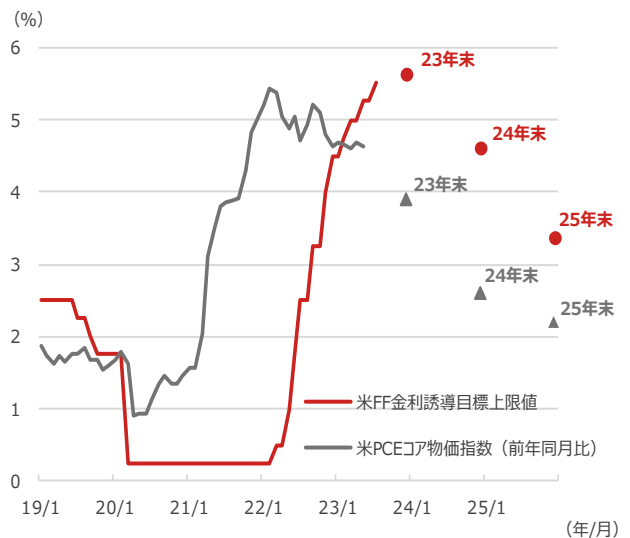
FOMC声明文、パウエル議長の発言にも特に大きなサプライズはなく、市場は小幅な動きとなりました。26日の米2年国債利回りは前日比0.02%低下（債券価格は上昇）、為替は一時1米ドル=140円を割り込むなど、主要通貨に対して米ドルは下落しました。依然米株式市場は好調であり、ダウ工業株30種平均は13連騰と1987年以来最長の連続高となりました。ただ、今週はECB（欧州中央銀行）理事会、日銀政策決定会合が開催される「中銀ウィーク」であり、金融市場の行方については引き続き注意深く見守る必要がありそうです。

23年12月会合後における
米FF金利誘導目標レンジの確率分布



・米FF金利誘導目標レンジの確率分布はFFレート先物から算出
 ・7月25日、26日は7月のFOMC結果公表日前日と当日
 （出所）CMEのFedWatchツールより野村アセットマネジメント作成

米FF金利誘導目標上限値と
米PCE（個人消費支出）コア物価指数



期間：米FF金利誘導目標上限値は、2019年1月末～2023年7月26日、月次
 米PCEコア物価指数は、2019年1月～2023年5月、月次
 ・○、△印：2023年6月FOMCで示された見通し
 ・○印はFF金利の目標レンジ中央値、△印は10-12月期の米PCEコア物価指数の前年同期比
 （出所）Bloombergより野村アセットマネジメント作成

重要イベント

- 7月28日 米PCEコア物価指数（6月）
- 8月4日 米雇用統計（7月）